

自己評価及び外部評価結果

別添2

年度2023年2月4日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1470901362	事業の開始年月日	平成18年4月1日	
		指定年月日	平成18年4月1日	
法人名	株式会社 スマイル			
事業所名	スマイル住まいる新横浜			
所在地	(〒223-0059) 神奈川県横浜市港北区北新横浜2-5-23			
サービス種別 定員等	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	2023/1/14	評価結果	市町村受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	https://www.rakuraku.or.jp/kaigo/w10/wpIDetails.aspx?JGNO=ST1470901362&SVCD=320&THNO=14100
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

現在、コロナ禍で以前より外出の機会は減りましたが、天気の良い日は、感染予防対策を行った上で、お散歩や買い物に行き、定期的に外出の機会を確保しています。面会については、制限を解除し、ご家族様とのお時間を大切に過ごして頂けるように最大限対応させて頂いております。日々の生活に関しては大きなスケジュールは無く、ご自宅と同じように自分のペースで生活して頂き、また、「主役はお客様」をモットーに、言動、記録、書類においてお客様を敬う姿勢を持ってサービス提供させて頂いております。

【評価者概要（評価者記入）】

評価者名	横浜北クリニック 内堀看護師		
所在地	神奈川県横浜市都筑区中川中央1丁目39		
訪問評価日	2023/2/21	評価者 評価決定日	2023/2/21

【評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価者記入）】

事業所は、横浜市営地下鉄「北新横浜」駅下車徒歩7分、鶴見川の近くに位置しています。1Fにデイサービス、2F3Fに2ユニットのグループホームがあります。周りは高層住宅やサービス付き高齢者住宅などがあり、事業所の隣には公園、鶴見川の河川敷、少し歩けばスーパーマーケットやファミリーレストラン、コンビニエンスストアなどもありとても便利です。

<優れている点>
職員は黒子に徹し「主役はお客様」をモットーに支援しています。タバコや飲酒の制限は特になく、以前からの習慣を楽しんでいる利用者もいます。近くのスーパーへ食材の買い物を職員と一緒に掛かけたり、利用者の自由な暮らしを支援しています。入浴では回数や時間の希望に応じて、湯水は一人ひとり取り替え、清潔で快適な入浴の支援をしています。利用者の心身の状況によっては1階のデイサービスの檜ぶろや特浴も利用出来ます。開設以来、協力医療機関や家族との連携のもと、終末期のケアにも取り組んでいます。

<工夫点>
コロナにより、外出の機会は減ってしまいましたが、オンラインコンサートなどを開催し、現在5回目の実績があります。八代亜紀さんなどメジャー歌手も参加し、お客様はとても楽しまれております。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	12 ~ 16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	17 ~ 23
V アウトカム項目	56 ~ 68	

スマイル住まいる新横浜自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	自己評価補足	外部評価	外部評価補足	評価用資料
1	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている	身体拘束について、年2回の研修を実施している。資料を読み解くだけでなく、動画研修も含めて、身体拘束をしないケアの具体的な内容の理解に努めている。	A. 充分にできている		身体拘束適正化に関する指針 身体拘束適正化委員会議事録
2	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている	虐待について、年2回の研修を実施している。資料を読み解くだけでなく、動画研修も含めて、虐待防止の理解に努めている。特に心理面では、お客様である以上、「させて頂く心」をもってサービス提供するように、指導・教育に努めている。	A. 充分にできている		・虐待防止、身体拘束研修 ・研修レポート
3	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	B. ほぼできている	電話ならびにメール、LINE等での意見・要望が多く、速やかに対応できるように、職員間での情報共有を紙媒体ではなく、電子媒体に切替え、運営に反映するように努めている。	B. ほぼできている		
4	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	B. ほぼできている	人事評価面談(年2回)において①人材育成②貢献度評価を目的とし、結果＝評価だけでなく、ナイストライも評価する。各自がチャレンジする向上心を持って働けるよう、職場環境の整備に努めている。	B. ほぼできている		人事評価制度 処遇改善に関する内容
5	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	B. ほぼできている	入社時の研修だけでなく、定期開催のオンラインブチ研修を開催することで、高い水準で新しい知識・技術を習得でき、英訳付きの研修内容の為、国籍問わず全職員が理解を深めることに努めている。	B. ほぼできている		社内ブチ研修 OJTチェックシート
6	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	B. ほぼできている	モニタリング(評価)→担当者会議→介護計画作成→ご家族様へ確認という手順で実施している。コロナ禍の為、密となる会議は控えている。	B. ほぼできている		モニタリング記録 介護計画書①
7	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	B. ほぼできている	日々の様子やケアの結果、気づきは1日3回の申し送りを行い、職員間で情報共有するよう努めている。また必要に応じて、カンファレンスを行い、介護計画を見直すように努めている。	B. ほぼできている	記録があることで、状態把握がスムーズにでき、共有できている。	カンファレンス

スマイル住まいる新横浜自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	自己評価補足	外部評価	外部評価補足	評価用資料
8	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	B. ほぼできている	お客様の入院時は、安心して治療に専念できるように家族・病院関係者と密に情報交換し、早期に退院できるように常に病院関係者との関係作りに努めている。	B. ほぼできている		入退院時記録
9	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	B. ほぼできている	家族、主治医含め密に情報交換を行い、最期まで「その人らしく」を尊重したケアが提供できるように研修も実施。家族・地域との関係者・スマイルがチームとして支援できるように努めている。	B. ほぼできている		看取り介護計画書 看取りケアに関する研修
10	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	C. あまりできていない	年2回の避難訓練・消防訓練を行い、避難経路の再確認、避難手段、避難場所の把握を行っているが、夜間時の体制には課題が残っている。お客様が安全に暮らしていけるように体制を築いていきたい。	C. あまりできていない	夜間時の対応については、対策はもちろん、訓練等の実施なども行った方が望ましい。	消防計画・訓練結果
11	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	B. ほぼできている	行動規範「自己決定の尊重」を全職員が実践できるように、日々指導し、利用者ではなく「お客様」という認識で、言葉遣いは「です・ます」を徹底するように指導・教育に努めている。	B. ほぼできている		個人情報とプライバシー保護 研修
12	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	C. あまりできていない	嗜好や日常会話から個々の好みを把握している。できる限り、職員と一緒に食事作りが出来るように、簡単な調理・準備・片付けが出来るように努めていきたい。	B. ほぼできている	利用者に合わせた食事形態を考えられている。利用者も食事がおいしいと毎回お話されている。	
13	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	B. ほぼできている	毎食後、口腔ケアの案内、実施に努めている。また週に2回歯科衛生士による口腔衛生指導を職員が受けることで、お客様への口腔ケアの質の向上に努めている。	B. ほぼできている		口腔衛生に関する助言 口腔衛生計画書
14	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	B. ほぼできている	2022年8月より、水分を1200ml摂取することで認知機能改善を図るプログラムを全お客様に実施している。結果、排泄コントロールや便秘の予防について改善するケースもあり、個々に適した予防に努めている。	B. ほぼできている		

スマイル住まいる新横浜自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	自己評価補足	外部評価	外部評価補足	評価用資料
15	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	B. ほぼできている	薬の目的・副作用・容量を理解し、症状の変化に気を配り、医療連携を基に主治医・訪問看護・薬剤師との協力を仰ぎ服薬支援に努めている。	B. ほぼできている	個別に合わせ、服薬、軟膏の相談をすることができている。	
16	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能がわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	B. ほぼできている	お一人おひとり様が居心地良く過ごせるように、共有スペースは四季を彩った季節感を演出している。また居心地良く過ごすだけでなく、お客様と創作物の作成をすることで、職員と一緒にその空間を作れる(演出できる)ように努めている。	B. ほぼできている		共用部写真① 共用部写真②
17	本人主体の暮らし	本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	B. ほぼできている	ご本人様のご要望・思いについては早急に発見→対応し、解決するように努めている。	B. ほぼできている		
18	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	B. ほぼできている	居室内の備品は、馴染みがあり、使い慣れたものを備えてもらうことで、ご本人様が安心して生活できるように努めている。	B. ほぼできている		お客様居室写真① お客様居室写真②
19	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	B. ほぼできている	「その人らしく」過ごし、活動できるように趣味・趣向に合わせたレクリエーションや体操を提供できるように努めている。	B. ほぼできている		
20	総合	本人は、このGHIにいてことで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	B. ほぼできている	お客様の自立支援に繋がるようにお声掛けさせて頂き、小さなことでも「自分でできること」で安心・充実した日々が繋がっていくように努めている。	B. ほぼできている	個々の自立度に応じて、利用者本人が生活できている。	